

# 地域密着型金融の取組み状況について ～金融仲介機能のベンチマーク～ (2020年度)

# 金融仲介機能のベンチマークについて

## <地域密着型金融の推進に関する基本方針>

- ① お客さま・地域のニーズを十分に把握し、応える取組みとします。
- ② お客さま・地域の成長とともにさいしんも成長できる、持続可能な取組みとします。
- ③ 専門性の高い金融機関として、お客さまを支える取組みとします。

当金庫では、「地域の発展に貢献します」「お客さまの夢と共に歩みます」の経営理念のもと、「地域密着型金融」の推進に係る取組みを経営計画の中核とすることで、その深化・発展に努めております。

金融庁より2016年9月に公表された「金融仲介機能のベンチマーク」を客観的な指標とし、今後も基本方針に基づく良質なサービスの提供を通じて、《さいしん》独自の価値を作り上げてまいります。

## 「金融仲介機能のベンチマーク」とは

2016年9月、金融庁が策定した金融機関における金融仲介機能の発揮状況を客観的に評価できる指標のことです。

### 「共通ベンチマーク」

全ての金融機関が金融仲介機能の取組みの進捗状況等を客観的に評価するための指標

### 「選択ベンチマーク」

各金融機関が自身の事業戦略やビジネスモデル等を踏まえて選択できる指標

### 「独自ベンチマーク」

各金融機関が自己評価するうえで、相応しい指標がある場合には独自に設定できる指標

# 金融仲介機能のベンチマーク

基準日:2021年3月31日

## 1-1. 日常的・継続的な関係強化と経営の目標や課題の把握・分析

- メインバンク（融資残高1位）として取引を行っている企業のうち、経営指標等の改善が見られた先の数、及び同先に対する融資額の推移（共通ベンチマーク）

当金庫メイン取引先数	うち経営指標等の改善が見られた先①	①の先に係る融資残高の推移		
		2020年度	2019年度	2018年度
5,244先	2,001先	1,348	1,179	1,085

- ライフステージ別の与信先数、及び融資額（共通ベンチマーク）

(単位:社、億円)	全与信先	ライフステージ別				
		創業期	成長期	安定期	低迷期	再生期
ライフステージ別の与信先数	17,138	1,656	1,446	10,250	889	770
ライフステージ別の与信先に係る事業年度末の融資残高	6,653	351	720	4,595	264	310

- 中小企業向け融資や本業支援を主に担当している支店従業員数、及び全支店従業員数に占める割合（選択ベンチマーク）

全支店従業員数①	上記業務担当従業員数②	②/①
1,424名	516名	36.2%

- 中小企業向け融資や本業支援を主に担当している本部従業員数、及び全本部従業員数に占める割合（選択ベンチマーク）

全本部従業員数①	上記業務担当本部従業員数②	②/①
572名	76名	13.3%

※与信先 = 融資取引のある法人

# 金融仲介機能のベンチマーク

基準日:2021年3月31日

## 1-1. 日常的・継続的な関係強化と経営の目標や課題の把握・分析

### ■ 認定支援機関による経営改善計画策定支援事業における「さいしんモデル」の構築（独自ベンチマーク）

#### 【認定支援機関による経営改善計画策定支援事業】

中小企業の多くは、自ら経営改善計画等を策定することが難しい状況の中、こうした中小企業等を対象に、中小企業経営力強化支援法に基づき認定された経営革新等支援機関（＝認定支援機関）が、中小企業等の依頼を受けて経営改善計画などの策定支援を行うことにより、中小企業等の経営改善を促進するための事業です。

#### 【さいしんモデル】

- ・当金庫が「代表認定支援機関」となり、埼玉県中小企業診断協会から紹介を受けた中小企業診断士に事業デューデリジェンスや損益計算書等の作成を依頼し、当金庫は財務デューデリジェンス及び計画の取り纏めを行うという連携した経営改善計画書策定支援スキームを確立しています。

2020年度申請件数	（内、さいしんモデル利用件数）	申請件数累計（2013年度より）	（内、さいしんモデル利用件数）
6件	4件	137件	73件

### ■ 中小企業の条件変更先に係る経営改善計画の進捗状況（共通ベンチマーク）

条件変更先総数	好調先	順調先	不調先
1,002社	21社	17社	112社

### ■ 中小企業再生支援協議会の利用先数（選択ベンチマーク）

中小企業再生支援協議会利用先数
63先

# 金融仲介機能のベンチマーク

基準日:2021年3月31日

## 1-1. 日常的・継続的な関係強化と経営の目標や課題の把握・分析

### ■「ささらの会」を活用した取引先企業の成長支援（独自ベンチマーク）

若手経営者や後継者を対象に「経営者としての意識の醸成」、「経営管理手法と実務知識の習得」、「人脈ネットワークの形成」を通じた経営力向上支援により、地元中小企業の発展、地域の活性化に資することを目的として、2009年よりさいしん若手経営塾を開講しています。2017年4月20日には経営力の更なる向上、継続的な異業種交流を図るため、若手経営塾の卒業生を対象に会員組織「若手経営者の集い ささらの会」を設立しました。

実務家講師による講演会の開催、会員企業視察研修、ビジネスマナー研修等の具体的な活動を通じて取引先企業の成長支援を図っております。

2020年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、対面での活動が制約される中ではありましたが、オンライン形式でのセミナー、講演会を通じて、ウィズコロナ時代の経済社会の変化への対応を支援いたしました。

設立時の会員数	2020年度当初の会員数	2020年度実施事業の実績
248名	164名	・ 6月22日 第3回通常総会（書面表決）
		・ 7月14日 テレワーク導入支援WEBセミナー
		・ 8月21日 コロナウイルスから会社を守る法務対策オンデマンドセミナー ～10月2日
		・ 2月16日 必見！令和2年度第3次補正 事業再構築補助金オンラインセミナー
		・ 2月24日 必見！令和2年度第3次補正 事業再構築補助金オンラインセミナー
		・ 3月4日 特別講演会（オンライン配信） 「テレビのプロが教える 中小企業の情報発信・PRのコツ」

# 金融仲介機能のベンチマーク

基準日:2021年3月31日

## 1-2. 最適なソリューションの提案

- 当金庫が関与した創業支援件数（共通ベンチマーク）

### 当金庫が関与した創業支援件数

339件

- 地元中小企業融資における無担保融資先数、及び無担保融資額の割合（選択ベンチマーク）

地元中小与信先数①	地元中小向け融資残高②	無担保融資先数③	無担保融資残高④	③/①	④/②
16,962先	6,342億円	12,820先	2,817億円	75.6%	44.4%

- 地元中小企業与信先のうち、根抵当権を設定していない与信先の割合（選択ベンチマーク）

地元中小与信先数①	根抵当権未設定先数②	②/①
16,962先	13,601先	80.2%

- 中小企業向け融資のうち、信用保証協会保証付融資額の割合、及び100%保証付融資額の割合（選択ベンチマーク）

中小企業向け融資残高①	保証協会付融資残高②	100%保証付融資残高③	②/①	③/①
6,355億円	2,575億円	9億円	40.5%	0.1%

※与信先 = 融資取引のある法人

# 金融仲介機能のベンチマーク

基準日:2021年3月31日

## 1-2. 最適なソリューションの提案

- 経営者保証に関するガイドラインの活用先数、及び全与信先数に占める割合（選択ベンチマーク）

全与信先数①	ガイドライン活用先数②	②/①
17,138先	3,537先	20.6%

- 全与信先に占める金融商品の販売を行っている先の割合、及び行っていない先の割合（選択ベンチマーク）

全与信先数①	金商販売先数②	金商未販売先数③	②/①	③/①
17,138先	313先	16,825先	1.8%	98.2%

- 運転資金に占める短期融資の割合（選択ベンチマーク）

運転資金額①	短期融資額②	②/①
4,600億円	1,015億円	22.1%

※与信先 = 融資取引のある法人

# 金融仲介機能のベンチマーク

基準日:2021年3月31日

## 1-2. 最適なソリューションの提案

- 一般社団法人さいしんコラボ産学官を活用した取引先企業の経営力向上支援（独自ベンチマーク）
  - ・ 大学、企業ならびに公的研究機関等と連携し中小企業の抱える課題解決、販路拡大、知財保護に取り組んでいます。産学官連携による研究開発を促進し、新商品・新産業の創出により地域経済の活性化を図るため会員企業表彰、大手企業等が保有する開放特許を活用した学生アイデア発表会を実施しています。

2020年度表彰企業	表彰企業累計（2007年度より）
6社	78社

- ・ 2016年8月、特許庁委託事業「地方創生のための事業プロデューサー派遣事業」の事業プロデューサー派遣先機関として選定され、事業プロデューサーが派遣されました。当初の目的を達成し3年度に亘ったこの事業は終了しましたが、引き続き委託して中小企業支援に取り組み2020年度の支援企業数は147社（うち継続支援企業数57社）となっており、中小事業者の特許活用、販路拡大の促進につながっております。
- ・ 学生アイデア発表会については主催4年目の昨年度は大学5校、専門学校1校から11チームが参加して事業化を目指すプレゼンテーションが行われ、4チームが入賞。県内中小企業を中心に全アイデアを対象として事業化を推進いたします。
- ・ 会員企業表彰は17社のエントリーから優秀賞2社（内埼玉県地域産業資源活用賞1社）、特別賞4社を選出。マッチング、販路拡大に協力いたします。



# 金融仲介機能のベンチマーク

基準日:2021年3月31日

## 1-2. 最適なソリューションの提案

### ■ 業務提携または、企業・団体との連携によるお取引先企業の販路拡大支援（独自ベンチマーク）

- ・ 中小企業基盤整備機構の提供するWEB上のマッチングシステム「J-GoodTech」の活用  
3月末現在 当金庫推薦企業 420先
- ・ さいしん まちづくりファンドを通じた「まちづくり支援」  
埼玉県内における中心市街地活性化および歴史的建造物の保全を目的に、一般社団法人民間都市開発推進機構との共同出資により、「さいしん まちづくりファンド」を設立。  
2020年度 2件の取組みを実施（投資対象エリアのうち川越市とさいたま市岩槻区）



- ・ お取引先企業の課題解決を目的に、外部連携機関等と連携し、オンラインにて補助金セミナー（3回）、事業承継セミナー（1回）を開催。

# 金融仲介機能のベンチマーク

基準日:2021年3月31日

## 1 - 3. 事業性評価の取組み

### 【事業性評価の定義】

お客さまとの継続的な対話を通じて、お客さまの事業内容や事業の成長可能性などを適切に評価し、財務内容や担保・保証に依存することなく融資や助言等の企業支援を行うこと。

- 事業性評価に基づく融資を行っている与信先数、及び融資残高（共通ベンチマーク）

先数	融資残高
3, 298先	2, 019億円

- 上記計数の全与信先数、及び当該与信先の融資残高に占める割合（共通ベンチマーク）

先数	融資残高
19.2%	30.3%

※与信先 = 融資取引のある法人